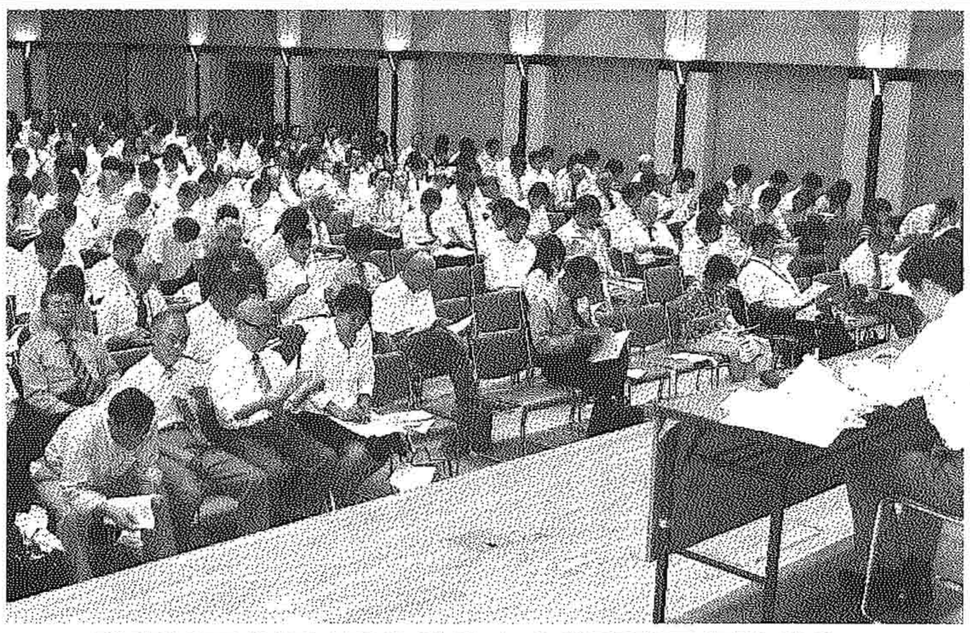
新公益法人制度説明会

参600人が加が 認定基準など理解



説明に耳を傾ける公益法人の各事務局担当者ら
＝鹿児島市の県庁講堂で

新しい公益法人制度の12月からの施行開始を前に2日、鹿児島市の県庁講堂で説明会があった。県内の約350に上る社団・財団法人の各事務局から約600人が参加、公益認定基準などについて理解を深めた。

公益性の認定を主務官庁から、民間有識者に変更することなどが盛り込まれた新公益法人制度。明確に定められた基準をもとに第三者機関が公益認定を実施、民間非営利部門の一層の発展が期待されている。

現在の制度では、全国に約2万5000を数える団体があり、明治29年の民法制定以来、約100年にわたり役割を果たしてきた。

説明会では、内閣府の担当職員のほか新公益法人制度普及啓発員を務める関口邦興税理士、熊本国税局法人課税課の岩崎隆課長補佐が解説。新たに示された「認定基準」や、登録だけの一般(社・財団)法人が作成する「公益目的支出計画」などについて説明した。

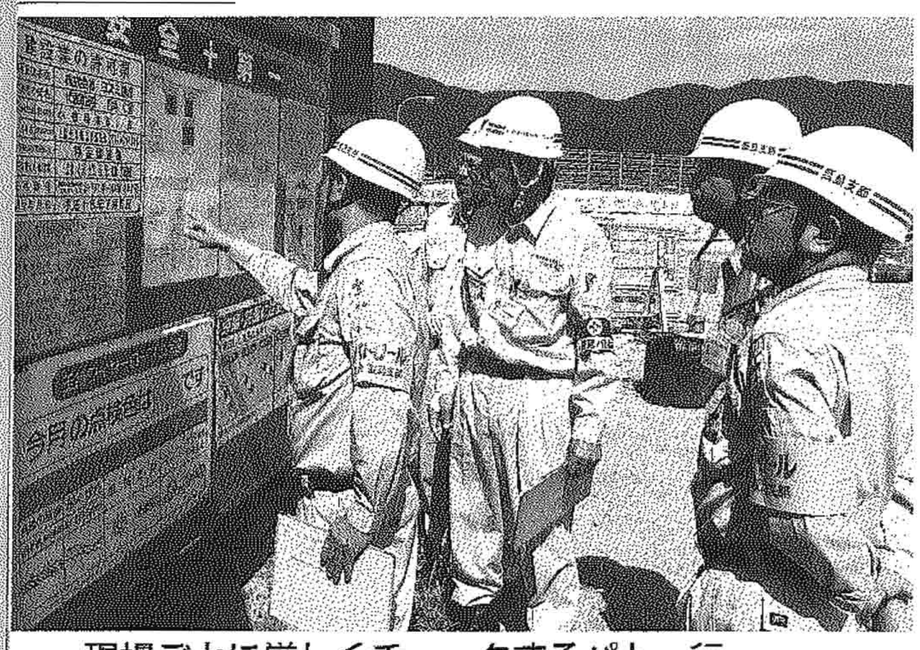
新制度では、法律の施行から移行期間は5年間の猶予があるが、適切な財産管理・運用のために、早めの準備が必要になりそうだ。

県建設業協会

川内・甑島両支部が交流パト

安全に創意工夫

県建設業協会川内支部(廣瀬十士支部長)と同甑島支部(純浦勝志支部長)による20年度交流安全パトロールが2日、薩摩川内市の下甑島一円で行われ、両支部から15人が参加して島内の3現場を診断した。



現場ごとに厳しくチェックするパト一行
＝薩摩川内市の下甑島で

鹿島港での出発式では、甑島支部の中野力丸副支部長が「これまで甑島支部で重大災害が発生していないが、今回のパトロールを通じて適切なアドバイスをいただき、現場の安全意識のさらなる向上を図りたい」と言葉を寄せて診断に出発。

パト一行は、それぞれの現場で現場代理人から工事概要や作業内容について説明を受けた後、現場内の安全管理や災害防止対策について重点的に点検し、気付いた点を指摘した。

全体の反省会は下甑町手打の竜宮の郷に場所を移して行われ、廣瀬支部長ら川内支部役員から「現場はきれいに整とんされ安全管理も充実していた」「掲示物や整理整とんが良好である」「現場の安全にそれぞれ創意工夫されている」「第三者への配慮や気配りの徹底を」などと講評した。

また、「重機のエンジンキーを腰ひもなどでつないでおくと、降りる際に必ずエンジンを切らなければならない」「現場では携帯電話を持たせない。詰め所や車に置くようにしている」などと、各社が行っている安全対策等の取り組みについて率直な意見を交換した。

鹿工生現場見学会

体育館屋根改築 屋根構造など解説

鹿児島市の県立鹿児島工業高校で進められている屋内運動場改築工事現場見学会が2日、同校であり建築系学科3年生39人と担当教諭2人のほか、県鹿児島地域振興局職員らも参加した。工事は65%の進捗率で屋上のトラス部分や鋼製建具工事などの現場を見て回った。

屋上部分を見学する建築系学科3年生＝鹿児島市の県立鹿児島工業高校で

見学会は、同校と工事を担当している植村組・深野木組・大洲建設特定JVなどによる協働作業として毎回節目に実施。この日は、同校OBで施工JVの吐合純一さんらが屋上から1階までの各現場を案内。屋根工事を担当している南九州金属工業㈱の吉村晃誠社長らは、屋上で屋根鋼板葺などについて解説。生徒らは立体トラス構造の珍しい構造に興味を示していた。また1階の柔剣道場では、職員がシックハウス症候群を防ぐために、四つの星がついたボンドを見せると生徒らは「へー」と驚いていた。

工期は21年2月10日まで。きょう3日は建築学科系の2年生が見学する。

建設業経営改善研究会がセミナー

若手経営者ら討議

建設業経営改善講座が9月26日、鹿児島市の鹿児島建設新聞本社で開かれ、県内建設業の経営者らが集まった＝写真＝。講座は、㈲舞システム企画(川野潤一郎社長)、㈱インターウェーブ(倉橋利一社長)、フクモトマネジメントラボ㈱(福元克明社長)で組織した建設業経営改善研究会が主催。今回は、鹿児島建設新聞「Kiss Web」の多様な使い方について説明があった。

同日は、最近の建設業の動向や各社の状況、発注機関の今後の方向性など意見交換した後、Kiss Webの検索方法やエクセルに移しての資料作成など多様な利用法について説明した。

なお、次回は12月に「ISOの問題点、今後の事業展開」について開催する予定。

鹿児島市谷山北公民館 完成記念式典

生涯学習拠点に期待

鹿児島市谷山北公民館の完成記念式典が2日、同市の現地で開かれ、約160人が出席して地域の交流・生涯学習拠点の誕生を盛大に祝った。

笑顔でくす玉を割る森市長ら(左)＝鹿児島市谷山北公民館で

オープニングセレモニーでは、森博幸市長、上門秀彦市議会議長、地元代表、子供たちがテープカットとくす玉開きを実施。式典で森市長は「本市は『市民一人一芸・一学習・一スポーツ』をモットーに、あらゆるライフステージで学べるよう、多様な学習機会の提供に努めている。谷山北公民館が多くの市民に活用されることを願う」と挨拶。石踊政昭教育長が事業経過を報告した後、施工業者等に感謝状が贈呈された。

同施設は市14館目の地域公民館。場所は同市中山町1246-1で、建物規模RC一部S造2階建延べ2516・54㎡。内部にはゆとりあるスペースを確保した図書室、個人利用可能なパソコン20台を常設した聴覚室、ふれあいコーナー、ホール兼体育館等を備える。エレベーターやスロープの設置など、バリアフリーにも配慮した。総事業費は約10億円。

施工業者等は次の通り。

㈲新建築設計事務所 大和測量設計㈱ ㈱ワーク設計 ㈱九大地質コンサルタント ㈱鶴留建設・㈱冨迫組JV 南国殖産㈱ ㈱薩南工業 ㈱南部電設 ㈱久保組 ㈱三反田建設 ㈲追立造園 ㈲田中忠重畳店

購読料のお支払いはお手軽で便利な
自動振替で
鹿児島建設新聞
099-227-5100へ

曳家(ひきや)工事・解体工事
土木一式工事・建築一式工事
株式会社 大城
県知事許可(特-17)第4087号
鹿児島市宇宿町1955-1 ☎(099)275-3600(代)
FAX(099)275-3601番